

神山神社だより

令和4年5月

33号

お知らせ

草木も芽吹き暖かくなってきました。まだまだコロナ感染により以前とは同じ社会環境では在りませんが少しずつ元の生活を取り戻しつつあるようです。只、世界に眼を向けるとウクライナ紛争で多くの方が亡くなり、避難されている現状を見ると悲しみと怒りさえも湧いてきます。国と国、人と人のコミュニケーションが正しく機能しないと狂った社会になっていくようです。

さて、そんな中では御座います。が神社懸案事項でありました、社務所がまもなく出来上がります。もしかしたらこの「神社だより」が手元に届く頃には出来上がっている事かと思えます。

地区からの協力金、崇敬者からの奉賛寄付金により建設出来ますこと感謝申し上げます。本来であれば令和五年に完成予定でしたが建設

資金の用途が付いた為、一年早く進ませて貰いました。ウッドショックの影響が少し有りましたが費用も予定通り進める事が出来たので大変ありがたかったです。もし、一年早く建設を始めなければ、費用も大きく嵩んでいた事だと思えます。

令和四年五月八日十時より社務所竣工式を執り行います。神社関係者、氏子総代、町内会長、区議会議員、川東老人会代表をお呼びします。

其の後の五月十五日内覧会を執り行いますので内覧会には奉賛寄付者、一般の方に来ていただき出来上がりを見ていただきたいと思います。多くの方のご来訪をお待ち致します。

案内については下段に記述いたします。

社務所竣工祭

日時 五月八日(日)十時～十二時
参加 関係各所の方のみ

社務所内覧会

日時 五月十五日(日)十時～十五時
対象 福岡区氏子・奉賛寄付者

※奉賛寄付者の方は事前に連絡済

(受付あり)

展示 社宝刀(吉則) 国重要文化財

祭り宝剣と槍

銘旗・四神旗

古文書一部

書画・写真

催し

十時 清流太鼓

十四時 巫女舞



令和四年度事業計画

一、社務所建設資金継続収支報告

本来令和五年三月まで事業が続く為、地区協力金・奉賛寄付金の依頼を行うと同時に社務所建設資金の使用状況を報告

二、氏子研修会旅行

他神社の神社活動の拝聴と正式参拝を目的とし毎年行われるがコロナ禍により二年執り行われていない。氏子の懇親会を含め本年執り行う予定。

三、新春伊勢参宮参拝

令和五年一月の参拝旅行をコロナ禍に注意し再開予定。

四、永代供養規則改定と利用説明会

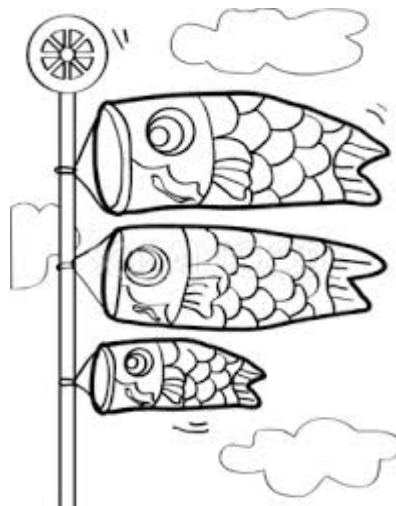
新しい社務所内に永代供養施設の祖霊殿が出来上がりました。それに伴い希望者に対して説明相談会を執り行う。

五、令和五年度以降の夏祭り実施検討

少子高齢化、地区戸数のアンバランス化、地球温暖化天候不順により夏のお祭りを行なうに当って困難が生じています。伝統を維持して問題を解消

し多くの人に喜ばれる祭りの開催の在り方を半年かけて執り行う。

端午の節句



五月五日は端午の節句と謂い、男の子の成長を祝う日です。三十年ほど前は其処かしこに鯉のぼりが上がり青空の下を泳いでいました。また、家の中には鎧兜の武者人形が飾られ柏餅、粽(ちまき)を家で作っていたと思います。最近では鯉のぼりを殆ど見受けられませんが子供が少ないからなのか、時代にそぐわないのか判りませんが、寂しい限りです。その代わり、行政や各種団体が多くの鯉のぼりを集め、イベント行事などに使う為に今では活躍しています。家庭の祭り、伝統文化が世代を渡って引き継がれないのは子供達にとっては極端では在りますが不幸な事だと

思います。本来、この端午の節句は中国の風習で五月は一年を通して悪い月だと考えられていたそうです。五月の最初の午の日に忌み邪気を祓う色々な習俗が行われ、邪気や毒を避けるため菖蒲を吊るしたり菖蒲の酒を飲んだり、人形(ひとがた)や人形(にんぎょう)を作り門扉に掛けて邪気を受ける身代わりにしたそうです。

日本の端午の節句は菖蒲が「尚武」となり近世の武家の文化から生まれたもので、鯉のぼりに関しては「立身出世、元気で丈夫」を表しているそうです。柏餅は柏の葉が新芽が出るまで残っていることから葉を親、新芽を子にみたてて「子孫繁栄」を意味し縁起の良い食べ物としています。

粽(ちまき)は竹筒に米を入れた供物だったそうですが竜が食べてしまう為、竜が嫌う棟(センダン)の葉で米を包んで五色の糸で縛ったものだったそうです。この棟(センダン)の葉が邪気を祓うものとして扱われました。その棟(センダン)の葉を笹の葉の替えたもの今の粽です。

このように先人が考え、其の時代に生きる人達に事柄を伝え、さらに私たちが後世に伝えるこれが伝統であり日本の精神文化です。ぜひとも失わないようにしてください。

い。

これからの祭り



六月三十日 大祓式
七月十五日 御鋤際
七月十七日 八布施神社祭

夏祭り

七月二十三日 試楽祭
七月二十四日 例大祭

七月三十一日 菅原神社祭
八月十三日 幽光御神灯祭

各種お祝い正式参拝の予約を受付けてます。

お問合せ先

宮司 深谷 耕平

宅 0573 - 72 - 2892